

A007 政策科学特別実習1「京都の世界遺産 仁和寺」				
英名科目名	Policy Internship 1 (Ninna-ji Temple, a world heritage of Kyoto)			
大学名	立命館大学			
連絡先	【衣笠教学課】 TEL : 075-465-8310			
担当教員	桜井 政成、山田 大地			
開講期間	<p>以下は予定。日程の変更がある場合には受講決定後、早急に連絡をする</p> <p>5月12日(日) 全体合同オリエンテーション(世界遺産科目の他科目との合同講義) 場所：キャンパスプラザ京都内 参考：今年度実施時間(全体を通しての時間：13時～16時50分)</p> <p>7月 調査の下見と計画づくり 場所：仁和寺および仁和寺周辺</p> <p>9月6日(金)～9月8日(日) 場所：仁和寺および仁和寺周辺 日程変更の可能性もあるので、上記のオリエンテーションで要確認。</p> <p>9月から10月にかけて、週1回程度集まります 学生提案に基づく企画を準備します。 11月上旬の週末を予定 イベントの開催 場所：仁和寺とその周辺</p> <p>12月15日(日) 成果報告会 場所：キャンパスプラザ内 参考：今年度実施時間(全体を通しての時間：12時30分～16時45分)</p> <p>&lt;教室案内&gt; キャンパスプラザ京都、仁和寺</p>			
開講形態	<table border="1"> <tr> <td>通年</td> <td>開講曜日・講時</td> </tr> </table>	通年	開講曜日・講時	
通年	開講曜日・講時			
単位数	<table border="1"> <tr> <td>2</td> <td>履修年次</td> <td>1回生以上</td> </tr> </table>	2	履修年次	1回生以上
2	履修年次	1回生以上		
会場	キャンパスプラザ京都、他			
授業定員	25			
単位互換生定員	<table border="1"> <tr> <td>10</td> <td>京カレッジ生定員</td> <td>0</td> </tr> </table>	10	京カレッジ生定員	0
10	京カレッジ生定員	0		
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100%</p> <p>授業は原則全回出席することで、成績評価対象とみなす。</p> <p>出席していても積極的なプロジェクト参加が見られない場合には、警告の上、欠席扱いとする。</p> <p>グループによる中間・最終発表の内容とそれへの貢献度合いも評価対象とする。</p> <p>最終的に個人レポート(1千字程度を予定)を提出。その内容を踏まえて成績を決定する。レポートテーマは「本授業を通じて学んだこと・考えたこと、またはその成果についての評価」を予定。また、成績には考慮しないが、授業の最初で、仁和寺関係者や受講生とともに、「本授業の目的」を設定し、それについての自己評価も行う。</p>			
超過時の選考方法	書類選考			
受講料				
別途負担費用				
その他特記事項	<p>シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 &lt;受講手続案内ホームページ&gt; <a href="http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html">http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</a></p> <p>【受講時の行動規範】</p>			

<p>本科目については、世界遺産所有者のご協力のもと開講されており、受講にあたっては特に担当教員及び世界遺産所有者の指導にもとづき行動するとともに、実習先の世界遺産におけるルールを順守すること。</p> <p>また、原則として履修を許可された学生は最後まで受講すること。</p> <p>【京都世界遺産PBL科目内での重複受講】 本科目については、京都世界遺産PBL科目として共通に行われる授業や発表会もあり、科目の性質上、科目群の中での重複受講は困難です。京都世界遺産PBL科目内での重複受講は原則、認められません。</p> <p>【別年度での他クラス受講について】 京都世界遺産PBL科目内でいずれかのクラスを受講していた学生についても、別年度であれば他の未受講クラスの履修は可能です。 なお、その場合においても単位認定などの取り扱いについては各所属大学で異なる場合がありますので履修登録時に教務窓口にご確認ください。</p> <p>【学生保険の加入について】 京都世界遺産PBL科目については、各世界遺産における学外実習を中心とした授業であるため、突発的な事故などに備え、学生保険への加入は必ず行ってください。なお、学生保険への加入については各所属大学へご確認ください。</p>
パッケージ科目
低回生受講推奨科目
講義概要・到達目標
<p>【授業の概要と方法】 この科目は、キャンパスプラザ京都(京都駅近く)などの学外施設にて開講し、立命館大学では開講しません。 キャンパスプラザ京都の時間割は立命館大学の時間割と異なりますので、必ず確認するようにしてください。 履修の際には、キャンパスプラザ京都までの移動時間も考慮するよう注意してください。</p> <p>仁和寺は1100年以上の歴史を持つ世界遺産です。国宝の本尊阿彌陀三尊像や金堂を初めとする多くの文化財が存在し、また御室桜や御室八十八ヶ所といった自然と伝統溢れる寺院です。本授業では、その魅力・価値をグローバル・ローカルに高め、そこで新たな「ご縁」を生み出せる可能性を探ります。授業では、学生自身や仁和寺の持つ「強み」を理解し、さらに、周辺に存在する学校、京福電鉄、宇多野ユースホステル等の、地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えます。 本授業での中心的な学習の視点は、地域開発の主流的な手法であるABCD(アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント)を学び、その手法を使いながら、個々の個人・団体・機関が持つ「強み」を理解し、それらを相互につなげることで生まれる新たな価値を考えるところにあります。単に新たな企画を提案するだけでなく、学生がそこで担える役割を考え、そして可能ならば実際に試験的な取り組みを実施し、その結果の検証まで、授業の中でしたいと考えています。したがって本授業はPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)でありながら、地域に貢献する中で学ぶSL(サービス・ラーニング)の性質も強く持っています。夏期休暇期間に事前学習と調査、および試験的取り組みの準備を行い、10月以降に学生自身によるパイロット的企画を実施したいと考えています。</p> <p>【受講生の到達目標】 本科目では、地域活性化の一手法であるABCD(アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント)を活用し、仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探ります。授業では、学生自身や仁和寺の持つ「強み」を理解し、さらに、周辺に存在する学校、飲食店、京福電鉄、宇多野ユースホステル等の、地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えます。さらにそれにとどまらず、そのアイデアに基づいた試験的な取り組みを実現しその成果を評価することも目指します。</p> <p>【授業外学習の指示】 最終的にプロジェクトを実施するにあたり、授業外でのミーティング等の時間が発生する可能性が高いので、そのために後期での予定を空けることが受講の条件の一つとなる。</p>

【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】  
その他(教員より別途指示)

【参考になる WWW ページ】  
適宜指示する。

### 講義スケジュール

#### 事前学習1

2019年5月12日(日)  
参考：今年度実施時間(全体を通しての時間：13時～16時50分)  
場所：キャンパスプラザ京都内  
全体合同オリエンテーション(世界遺産科目の他科目との合同講義)

#### 事前学習2

7月 調査の下見と計画づくり 場所：仁和寺および仁和寺周辺  
日程変更の可能性もあるので、上記のオリエンテーションで要確認。  
1日間の調査を予定します。仁和寺の関係者からご案内頂いた(半日)あと、グループに分かれ、仁和寺内、および周辺の資源調査の計画を立てます。その際に、担当教員がABCDアプローチをレクチャーします。

#### 実習1

9月6日(金)～9月8日(日) フィールドワーク調査  
場所：仁和寺および仁和寺周辺  
日程変更の可能性もあるので、上記のオリエンテーションで要確認。  
2日間の調査合宿を予定します。1日目は仁和寺内、および周辺の資源調査をし、夜、宿泊者調査(宿泊予定)をし、2日目は追加調査とまとめの作業をします。最後に仁和寺関係者に企画のプレゼンを行います。

#### 実習2

9月中  
学生提案に基づく企画を準備します。必要に応じて、追加調査を行う場合もあります。(9月から10月にかけて、週1回程度集まります)

#### 実習3

イベントの開催(11月上旬の週末を予定)。場所：仁和寺とその周辺  
仁和寺と地域の資源をつなげて価値を高める取り組みの実施。  
企画が実施に至らなかった場合、振り返りの時間として授業を実施。

#### 事後学習

成果報告会：2019年12月15日(日)  
参考：今年度実施時間(全体を通しての時間：12時30分～16時45分)  
場所：キャンパスプラザ内  
学びの成果を発表(他科目との合同授業)

教科書	適宜指示する。
参考書	以下の「書名」、「著者」、「出版社」を参照  ・なぜローカル経済から日本は甦るのか GとLの経済成長戦略 富山 和彦 PHP新書 ・サードプレイス レイ・オルデンバーク みすず書房